

告諭

「人人悉く道器なり」

瑩山禪師のお言葉です。私たちは、元来、かけがえのない存在であり、それゆえに、一人ひとりが輝かしい人生を送ることが出来るのです。

その一方で、さまざまな社会の不均衡は多くのひずみを生み、私たちは苦悩を抱えながら生きています。また、頻発する災害がもたらす人びとのつらさや切なさを我が身に受け、悲しみを観じています。

誰一人として取り残されることのない世界を見据えて、いま、私たちの生き方が問われています。

ともに学びましょう。

己の益を先とする私たちの行いは多くの諍いを生んできました。本来の自己のありようは、他者との共生にあることを参究しましょう。その営みの中にこそ平和の実現があるのです。

ともに願いまししょう。

私たちは、人やもの、自然環境に至るまで、数多のめぐみを受けて生きています。それらすべてと協調し、感謝の念を忘れず、世代を超えて安心して過ごせる世界の構築を願う菩薩の誓願に生きましましょう。

ともに実践しまししょう。

お釈迦さまは、智慧と慈悲を説かれました。あらゆる人に親切に接する慈悲の実践は、自ずと、心穏やかに暮らす智慧の心を育みます。それは、お互いがそれぞれを生かし合い、尊重し合う社会へとつながります。

道元禪師は、「ただまさに、やわらかなる容顔をもて、一切にむかうべし」と示されました。み仏の前に心静かに坐り、ご先祖さまに掌を合わせ、皆が幸せに過ごせる慈しみ溢れた世の中を目指して、ともに歩んでまいりましょう。

合掌

南無釈迦牟尼仏

南無高祖承陽大師道元禪師
南無太祖常濟大師瑩山禪師

令和二（二〇二〇）年四月一日

曹洞宗管長 福山諦法